



photo by haruka923

伴に歩む

嗜好調査を実施しました！

友和病院 作業療法だより

相談のります！

地域連携室です！

理事長、かく語りき

デイケア叶えです！

診療時間等ご案内



「伴に 歩む」



私がグループホームエスペランサへ入職し、早十二年の月日が経とうとしています。

前職とは全くかけ離れた環境に戸惑いながらも、早く利用者の皆さんと仲良くなりたくらいと、一生懸命日々の業務を覚えていた頃の事を今でも覚えています。

無我夢中のその時に、心に残っている上司からの言葉は、「皆さんと沢山関わり、沢山話をしてください」でした。元来、人と接することが好きで、話をするのも聞くのも好きな私の事です。なので、なんの躊躇もなく利用者の皆さんの懐へ飛び込んで行ったのです。

勿論利用者の皆さんは、観音様のように優しいので、新参者の私をすんなりと受け入れてくださるのです。そして、毎日の支援の中で、気付かされる事や学ぶ事が多くありました。

それはある利用者さんの同行受診で公共交通機関を利用した時のことです。その方はしきりに後ろを振り返り、周囲の人を気にしたり、または同行している私を探したりと落ち着きのなさを見せるのです。また、ある別の利用者さんは、お店のレジで支払いをする時、緊張から手が震え、後ろに並ぶ人へ気を遣い、小銭を出すことを諦めてお札で支払おうとしたり。皆さんそれぞれ強い緊張の中で生活をされているのだと、感じました。

私達エスペランサの世話人は、皆さんの一番身近な理解者でありたいとの思いを胸に日々切磋琢磨し、奮闘しています。年月を重ねる中で、多くの研修にも参加し、学べば学ぶほど、己の傲慢さに真摯に向き合う気持ちを継続させる難しさを知りました。利用者さんの表情や声のトーンから、「あの時の対応は本当に良かったのだろうか」と悩み、上司へ相談する時もあります。

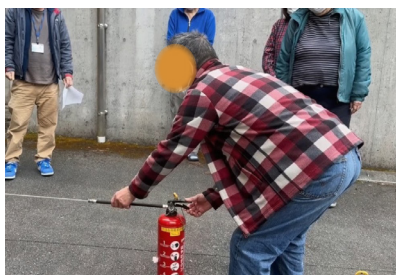
しかし、そんな不安にさいなまれるばかりの日常ではありません。仕事で頑張って働いて工賃が多くて嬉しかった時の報告。外出行事や作業所のイベントで色々な所へ行き、美味しいものを食べ、体験して楽しかった時の報告。こちらも興味津々に皆さんの生き生きとした報告を楽しませていただく事で、心がほっこりと温かくなります。

このエスペランサでの年月は、私の紆余曲折・波乱万丈な人生の中でも、多くを学び、実践する難しさや厳しさを知る年月であったように思います。人生何事も修行なのですね。

さて、人生の折り返し地点も過ぎました。これから好奇心満載で日々ワクワクしながら、利用者の方々と小さな幸せ探しもし、ゆっくり前を向いて歩いて行きたいと思っています。

(グループホームエスペランサ

世話人 横田智恵子)



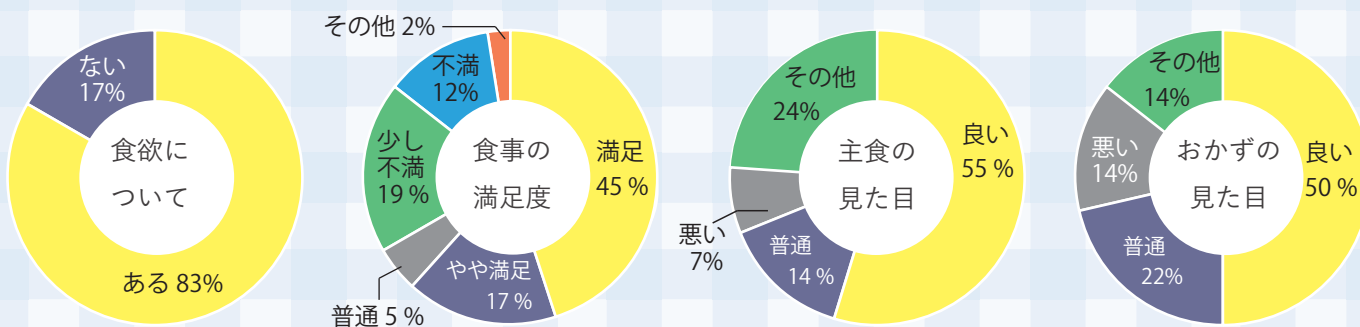
(写真右) みんなでワールドカップを観戦 (写真左) 消防訓練の様子。

栄養給食課より

嗜好調査を実施しました

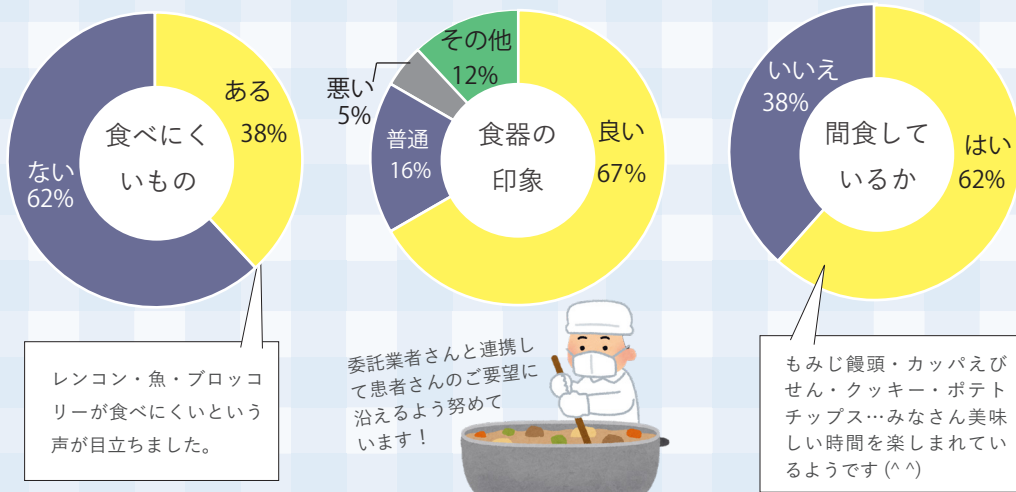


友和病院では、入院生活の満足度向上を目的として、毎年食事の嗜好調査を実施しています。いただいたご意見をもとに、患者さん一人一人に寄り添ったより良い食事の提供に努めています。今号では、2026年5月に2階病棟入院中の患者さん55名中42名に行った回答結果をご紹介します。



友和病院 給食人気メニュー 第1位 麺類 第2位 カレー 第3位 唐揚げ

麺類の中での人気メニュー 第1位 ラーメン 第2位 うどん 第3位 焼きそば 第4位 スパゲッティ



レンコン・魚・ブロッコリーが食べにくいという声が目立ちました。

委託業者さんと連携して患者さんのご要望に沿えるよう努めています！

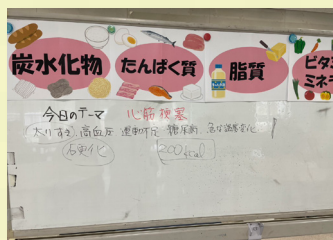


もみじ饅頭・カップえびせん・クッキー・ポテトチップス…みなさん美味しい時間を楽しまれているようです(^^)

管理栄養士より一言

昼食時にラウンドを行い、患者さんと食事内容について話をすることで、より満足度の高い食事を提供できるようにしています。ラーメンやうどんはレパートリーも豊富なので、数日前からメニュー表を見て楽しみにされている方が多くいる印象です。その他、季節の果物を時々提供させていただいていますがとても好評で、また食べたいという意見が聞かれます。

栄養教室を実施しています



当院では、入院中の患者様の健康維持と退院後の生活を見据え、定期的に管理栄養士による栄養教室を開催しています。今回は「心筋梗塞を予防する食事」をテーマに、約30分間の講座を行いました。担当した管理栄養士の林さんから「心筋梗塞の原因を知っていますか？」と投げかけられると、患者さんからは「高血圧！」「糖尿病や脂質も関係するよね」といった声上がり、ご自身の体調と照らし合わせながら考えられている姿が印象的でした。講義中にはメモを取る方もおられ、充実した時間となりました。また、今回のテーマにとどまらず、「最近、便秘気味で…」「テレビで見たこのサプリメントって体にいいの？」といった、日頃の小さな悩みや疑問も飛び交いました。

栄養教室は、単に知識を学ぶだけでなく、普段気になっている食の疑問を気軽に相談できる貴重な機会となっています。今後もみなさんの「おいしく健康的な食生活」をサポートできるよう、様々なテーマで継続してまいります。



相談のります！地域連携室です！

友和病院 地域連携室

「地域連携室」。

一度はお聞きになったことがあるかもしれませんが、実際にどんなことをされているかご存じでしょうか？他病院では随分前から「医療連携室」や「地域医療連携室」等ありましたが、当法人は二〇一三年八月に発足しました。それまでも開院当初から相談員（一九九七年からは国家資格となった精神保健福祉士として）という形で存在はしておりましたが、これからの時代は地域社会との連携は欠かせず、内外に対しても「もっと分かりやすく、連携しやすい窓口が必要」ということで業務を見直し再編する形で始まりました。

発足時は一名。当時の事務局長と一緒に行政機関や近隣の医療機関、事業所等に挨拶回りから始めていき、地域の会議や行事等にも極力顔を出すようにして、まずは「知ってもらおう」ところからでしたが、既に開院して三十年経過していた町内の方々でさえ「友和病院をよく知らない」という声が多かったのは当時かなりショックを受けた出来事でもありました。少しずつ問い合わせや相談等も増えていく中で、「地域連携室が、友和病院が地域から何を求められているか」ということも分かってきました。主な業務は受診や入院相談・調整、入院患者さんの療養生活のサポート、退院支援となっております。現在は精神保健福祉士三名にて多岐に渡る業務を担っています。

地域連携室としての醍醐味は何か？病院内には医師、看護師、看護補助、作業療法士、栄養士といった様々な職種が入院患者さんの療養生活をサポート

しています。精神科病院での入院は長期に渡るものが珍しくなく、短い方で一年未満、長い方であれば数十年という方もおられます。様々な事情もあり、ここで一口に語れることではありませんが、長い療養生活を送る「社会生活から遠ざかってしまうということでもあります。皆さんが「当たり前」に出来ていることが実現しにくい現状というのまた精神科病院の特殊性ですが、その中で地域連携室は地域と連携しやすい業務を活かし、退院に向けたサポートを行っていきます。時には一緒に外出や、普段のお話の中でこれからの生活への希望をお聞きし、実現に向けて一緒に考えていきます。その経過の中で病棟の中だけでは見られない様子に気付かされることも沢山あります。知らず知らずの内に決めつけてしまった「その方のイメージ」を良い意味で覆されることも多く、その瞬間に立ち会えることは喜びでもあります（決めつけてしまっていた自戒も…）。これからも地域連携室が皆さんにとって身近で、気軽に何でも相談でき、サポート出来る部署として励んでいきたいと思っています。

ちなみに現在は男性職員ばかりですが、淡々と確実に仕事をこなす「脱力系仕事人のベテラン」、今年度入職した何事にも一生懸命取り組む「ちよつと抜けた新人」、十年振りの異動で「ある意味、新人と変わらない微妙なベテラン」という『イケメン揃い』となっております。いつでもお気軽にご相談ください！

（地域連携室 精神保健福祉士 岩田卓郎）

友和病院 地域連携室

ご本人さまもご家族さまも、
ひとりで悩まず、まずはお電話からでもご相談ください。

福祉サービスや社会資源の利用について
医療費や生活費など経済的な問題について
各種制度の利用について 退院後の生活や退院先について
ご家族への支援について 関係機関との連携について
就労や社会参加について
また、地域の通所施設や相談支援事業所、関係機関と連携し、会議への参加や地域イベントの紹介などを通じて、安心して地域で生活が送れるようサポートさせていただきます。

住所 廿日市市峠字下ヶ原 500
TEL (0829) 74-0688
電話受付 8:30 ~ 17:30（日祝休）





理事長、かく語りき

80年という時間

満八十歳の誕生日を迎えた今年、古い友人から「ZIN」が届いた。「二十五歳のとき、四半世紀を生きてしまった……と手紙をもらいました。夢まぼろしのようです」とある。そういえば、そんな手紙を書いた覚えがあった。当時の私は、大学闘争の渦中を駆け抜け、逮捕や裁判と続く日々を過ごす中で、言いようもない敗北感と虚脱感に苛まれていた。干支が一巡して三十六歳になった自分の姿など全く思い描けず、一年近いひきこもり生活の中で、友人に心情を書き送ったのだろう。いま振り返ればなんと青臭いことかと赤面するが、その四半世紀後には大学ポット部の同期と「Half Century」を祝い、さらに四半世紀を越えて今、八十歳を迎えている。二十五歳の自分には想定外の長生きだが、ここ数十年のこの国の変わり様を思うと、心は暗澹となる。

昭和史研究家で作家の半藤一利氏は、近代日本におよそ八十年周期の流れがあると語っていた。明治維新から日露戦争の勝利までが約四十年、その成功体験が膨張して第二次世界大戦の敗戦に至るまでが約四十年、合わせて八十年である。半藤氏によれば敗戦後の八十年間は、「日本史上最も平和で自由な時代」であった。その貴重な時代が、またおかしな方向へ向かっているのではないかと案じつつ、二〇二一年に亡くなった。

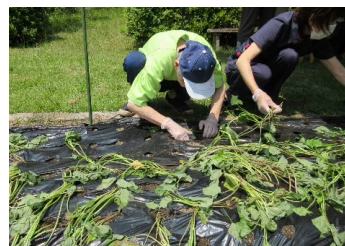
戦後の八十年という時間は、そのまま私の人生でもある。私たちは戦後民主主義の中で育った。自由や平和、個人の尊厳という価値観が社会に広がり、未来への希望があった。三十二歳で新しい精神科病院を作った際も、中心理念は「自由」だった。その思いは戦後日本の歩みの前半部分と無縁ではない。しかしそれから四十年が過ぎ、いま私たちは大きな反動の時代にいる。かつて当たり前だった自由の空気は、強い逆風にさらされている。半藤氏は最晩年、死の床で「戦争はいけないね」とぼつりと言いつたという。昭和史を見続けてきた人には、戦後の八十年周期が終わる不穏な時代の足音が聞こえていたのだろう。

半藤氏の夫人は夏目漱石の孫である。漱石は小説『三四郎』の中で、世間を評して「滅びるね」と言わせた。連載は日露戦争勝利のわずか二年後。国を挙げて一等国になったと沸き立つ中でのことだ。その慢心と増長が四十年後の破滅へ突き進むことを、漱石は予言していたかのようである。

もちろん歴史は単純に繰り返さない。しかし、軍備増強が当然のように語られ、武器輸出が国家戦略として推進される今日の日本を見ると、既視感を禁じ得ない。かつては自民党の首相でさえ「兵器を売って儲けようなんて、日本はそこまで落ちぶれていない」と語った。この変化は恐ろしい。孫たちの時代に「徴兵」が復活し、老人が若者を戦場に送るような事態にならぬことを願うのみである。

友和病院 作業療法だより ⑧

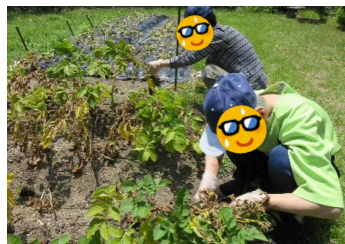
梅雨が来る前に、皆さんと「芋仕事」レクを楽しみました。



根が出ないように慎重に

1

なおかつ、去年植えたジャガイモの収穫もしました！



暑いけど頑張ろう

3

しつかり根付く様に、頑張つて植えて下さってます。



経験者は作業が早いのだよ

2

こんなにあった



たくさん収穫できました。さてどうやって食べましょうかね！

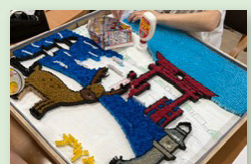
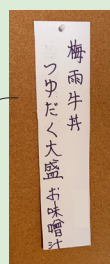
4



スタミナ丼で夏を迎え討つ！



玉ねぎたっぷりで血液もサラサラですね

梅雨には名旬も生まれ
ていました！暑さ本番
根気 MAX

廿日市エリアより

精神科デイケア

かな

叶えです！

土をいじるのも
いいですね～

昨年春より、ご近所の畑をお借りして始まった「かなえファーム」で玉ねぎとニンニクを収穫しました。6月には、しばらく中断していた友和病院の林管理栄養士さんによる調理を再開しました。玉ねぎとニンニクが収穫できたことで決めたスタミナ丼は、ボリュームたっぷり美味しくいただくことができましたが、残念ながらニンニクは収穫後の管理がうまくいかず、食べることができませんでした（当日は、林さんからいただいたニンニクを使用）。

デイケアでは、運動系、学習系、娯楽系等のプログラムを取り入れて、実施しています。内容についてはスタッフが企画するものの他に、月1回のデイケアミーティングでメンバーさんから意見を伺って取り入れるものもあります。やってみたいことや外出で行きたい所等がありましたら、気軽にデイケアスタッフにお声かけください。メンバー、スタッフ一同お待ちしております！

【お知らせ】

4月より、人事異動に伴い、「デイケア叶え」の管理者として宮地精神保健福祉士（MHSW）が着任いたしました。前任の岩田 MHSW は、友和病院 地域連携室へ異動しております。新たな体制のもと、より良い支援に努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

診察時間等ご案内

《旧佐伯町エリア》 ☎ 738-0202 広島県廿日市市峠字下ヶ原 500



・友和病院

☎ 0829-74-0688
8:30~17:30（日祝休業）当院には“オレンジドクター
（もの忘れ・認知症相談医）”
が在籍しています。

予約優先制		午前の部 9:00-12:00 午後の部 14:00-16:00		(受付 11:30 まで) (受付 15:30 まで)				
		月	火	水	木	金	土	日
精神科・ 心療内科	午前	末田	名越・西田	清水	末田・西田	名越	予約	—
	午後	予約	予約	予約	予約	予約	予約	—
内科	午前	高内	—	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—
歯科	午前	—	堀	—	堀	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—

・訪問看護ステーション
「ゆうわ」☎ 0829-40-0822
8:30~17:30（日祝休業）

・共同生活援助事業所エスペランサ
・短期入所事業所エスペランサ
・相談支援事業所エスペランサ

☎ 0829-74-1106
8:30~17:30（日祝休業）

《廿日市エリア》 ☎ 738-0033 広島県廿日市市串戸4丁目2-16

・串戸心療
クリニック☎ 0829-30-6014
受付：8:45~17:00

・デイケア叶え

☎ 0829-30-1900
9:30~15:30（木日祝休業）・訪問看護ステーション
和み☎ 0829-30-8915
8:30~17:30（日祝休業）

完全予約制 受付は診察時間終了30分前まで 祝祭日休診（日曜日が祝祭日の場合は診療、翌月曜日を休診とする）								
		月	火	水	木	金	土	日
		青森	末田	第1,2,3,5：青森 第4：末田		青森	青森	青森
心療内科 ・精神科	午前	9:00～ 12:00	9:00～ 12:00	9:00～12:00		9:00～ 12:00	9:00～ 12:00	9:00～ 12:00
	午後	14:30～ 17:30	14:30～ 17:30	14:30～17:30		14:30～ 17:30	14:30～ 17:30	14:30～ 17:30
内科	木曜：午前 9:00～12:00 / 中村 午前中のみとなりますのでご注意ください							